

国有林モニターを経験して。

岩手県 菊地良子



私が、国有林モニターを希望した理由は、私の住んでいる地域は、山々に囲まれています。山の恩恵を受け、生活をしています。それで国有林に興味があったからです。

2011年3月11日の東日本大震災以降は、震災で住居を失った方々の新居の建築が増えました。農地では、鹿や他の動物の被害が頻繁に起きて困っている人が多数います。

鹿や熊の鉄道事故も結構起きています。私が自宅付近で、初めて鹿を見たのは、昨年11月5日早朝に、我が家の前で鹿の交通事故が起きた時です。主人は鹿が国道に横たわっていたので、驚いて私に声をかけました。近くには、事故にあった車の破片が散らばっていました。どういふ状況で鹿の交通事故になったかは、理解できませんでした。昨年、遠野市のモニター見学会で、増えすぎた鹿の森林被害を学習しました。最近では、鹿の捕獲も許可され、我が家も鹿肉を頂

く機会も増えました。鹿肉は血抜きをして上手に料理すれば、高蛋白質で、滋養もあり、おいしい食材です。一番の問題は、鹿肉の放射能です。保健所では、鹿肉を食べて良いと許可していないそうです(※)。

最近、テレビで福島県の「マタギ(狩人)」を見て、動物と人の住み分けと共存について考えさせられました。増えすぎた動物に、人の生活が侵害される事はあってはならないと思います。動物の増加を注意し、増えすぎには捕獲も必要です。動物の数を把握する事は、人との共存の上でも重要だと考えます。

国有林モニターを体験し、国有林を管理する職員の方のご苦労を知りました。

※厚生労働省により昨年度、野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針が策定されておりますが、岩手県内や福島県等一部地域では規制を行っている箇所があります(モニター担当)。